



明暦の酒田町絵図 (酒田市指定文化財)

- 明暦の酒田町絵図 明暦2年  
酒田市指定文化財……………1 枚
- 滝之図 酒井忠器公画  
絹本掛軸……………1 幅
- 震災実況図 生駒大飛画 明治27年  
紙本巻物……………1 卷
- 大磐若経第四七三卷  
重要美術品認定 紙本巻物……………1 卷
- 井伏鱒二戯画 (七愚人飲酒之図)……………1 卷
- かまなり 昭和31年  
酒田機関区 個人蔵 ……………5 冊
- 河 昭和49年  
個人蔵 ……………4 冊



滝之図 酒井忠器公筆



大磐若経 第四七三卷 (重要美術品)



震災実況図 明治27年 (酒田市指定文化財)



木鐸



酒田新聞



かられる物語



骨の木



三千里



群像



温床



荘内文学



花袋紀行集



鶏鼎嶺



みちのく豆本

【第107回企画展示】

# 明治・大正・昭和の郷土における 文化活動展

— 光丘文庫の所蔵品等をとおして —



両羽博物図譜 松森胤保自筆 (山形県指定文化財)

開催期間 平成11年9月24日(金)～11月23日(火)  
 開館時間 午前9時～午後4時30分  
 休館日 なし  
 入館料 大人100円 児童・生徒50円  
 65歳以上の方と身体障害者の方は無料です。

## 酒田市立資料館

酒田市一番町8-16 TEL(0234)24-6544 FAX(0234)24-6544



## ◆開催にあたって◆

酒田市立光丘文庫は本間光丘が修学の為の寺院として幕府に願い出て果たされなかった経緯がありますが、大正7年本間光丘の功績に贈位されたのを機に大正12年本間家八代本間光弥が先祖の遺志を継ぎ、蔵書1万数千冊と建設費を寄贈し財団法人光丘文庫として創立されたものである。後に建物、蔵書等は酒田市に寄付され、現在6万冊の蔵書には県指定文化財「両羽博物図譜」をはじめ和書、漢籍、郷土資料、寄託図書、郷土出身著名人の蔵書等他では得難い貴重な蔵書、研究資料が多く、全国からの研究の為の来館者も多く重要な施設であります。

また、光丘文庫は創立以来文化活動の拠点でもありました。日本を代表する数多くの学者や文化人による講演会等の開催や交流も盛んであり、荘内博物学会では牧野富太郎博士などの御指導等その他多くの文化活動もあり、酒田の歴史、文化を理解するには欠くことのない大切な施設であります。

一方、酒田は明治、大正、昭和期の出版活動も活発で、各種新聞の発刊や明治末から大正期の「木鐸」その後の「群像」そして、中央文壇とのつながりも大きかった「骨の木」戦後は単行本や詩集、歌集に時代や地域性を反映した多くの特色ある出版活動があります。この時代に酒田を訪れた文人墨客の足跡にも触れ、郷土の歴史、文化により一層の関心と御理解を頂く機会になれば幸いです。

開催にあたり資料の御提供や御教示を頂きました酒田市立光丘文庫並びに関係各位に厚く御礼申し上げます。



光丘文庫正面



贈正五位本間四郎三郎光丘翁画像



光丘文庫来館者の署名 芳名録



光丘文庫正面玄関の「扁額」(篆刻) 佐藤鐵太郎書

弘采録 (酒田市指定文化財)



- 弘采録 池田玄斎 自筆本  
酒田市指定文化財……10冊
- 大日本史 写本 寛政5~7年  
酒田市指定文化財……10冊
- 湖月抄 天保3年……10冊
- 古今和歌集 天明3年……2冊
- 継尾集 元禄5年……2冊
- おくのほそ道  
寛政元年……1冊
- 奥細道管菰抄 上・下  
安永7年……2冊
- ナポレオン伝  
石原莞爾文庫……4冊
- コーラン原書  
大川周明文庫……4冊
- 除元集 荘内酒田郷中連中編  
天明6年……1冊
- 三山雅集  
宝永7年……1冊



継尾集



おくのほそ道

奥細道管菰抄



ナポレオン伝  
(石原莞爾文庫)



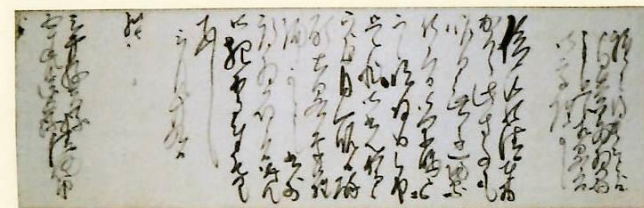
古今和歌集



コーラン原書  
(大川周明文庫)



湖月抄



清河八郎 書翰



夢乃浮橋

- 清河八郎書翰 紙本掛軸……1 幅
- 大塩平八郎首級之図 紙本掛軸……1 幅
- 徂徠一門之図 (八人) 紙本掛軸……1 幅
- 夢乃浮橋……2 冊
- 雲嶺賦色酒田風景図巻版本 五十嵐雲嶺画 紙本巻物……1 巻



徂徠一門之図



大塩平八郎首級之図